

令和7年度 御殿場小学校 グランドデザイン

校訓

富士に立つ子

富→豊かさ・心豊かな人、たくさんのものを身につけている人
 士→守徳を修めた立派な人、確かな学力を身につけ、品格を備えた人
 自信を持った言動ができる人 揺るがない精神をもった人

「御小ブランド（御小は自分の学校という思い）」を支える4つの視点

1 御小の使命

御小を通して人を幸せにする

2 目指す学校

フルーツポンチのような学校

3 学校教育目標

自ら考え 高め合う 御小の子

4 合言葉

大切にしよう 自分も 相手も

教師の願い 「関わり合ってのびる」

・対話力 95% ・互いを認め合う力 95% ・自己調整力 90% ・受容力 100%

学校経営目標

県・市の指定を受けた研究とのつながり

居心地のよい御殿場小学校

～誰一人取り残さない御小～

- ①すべての子供たちの「可能性を引き出す学びが実践される場」
- ②すべての子供たちの「心の居場所・絆づくりの場」
- ③すべての教職員の「働きがいのある場」

子供たちが社会で活躍する2040年代を展望した御小の果たすべき役割を意識

教科指導	教科外指導	学校運営
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意義を見いだす ・自分の考えを持ち、根拠に基づいて説明する ・「主体的・対話的で深い学び」、 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の整理 ・デジタルの力でリアルな学びを支える ・生成AIの効果的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる ・ニーズに応じた特別支援教育 ・教育活動全体を通じて行う道徳教育と人権教育 ・質の高い探究的な学びを実現するための「総合的な学習の時間」 ・幼児教育との円滑な接続 ・情報活用能力の抜本的な向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主的で公正な社会の基盤としての学校 ・柔軟な教育課程 ・働きやすさと働きがいの両立 ・コミュニティ・スクールを含む地域や家庭との連携・協働 ・学習指導要領の趣旨・内容について保護者と共有

◆評価と改善

【PDCAサイクル】カリキュラムマネジメント 学校教育目標の共有、教育課程の作成⇒教育活動⇒学校評価：児童、保護者、教職員、学校関係者⇒後期・次年度への反映

+

【OODAループ】PDCAサイクルの「D」を回す⇒授業、生徒指導、学級・学年経営等想定外への対応：Observe（観察）⇒Orient（状況判断）⇒Decide（意思決定）⇒Act（実行）